

露地栽培のアスパラガスにおけるコフナの使用方法


ニチモウ株式会社

◆ アスパラガス栽培のポイント

アスパラガスは、非常に多くの根を出します。その根を外に取り出さない為、土の有機物に対する分解能力によって、根の張る量が変わります。その土の能力を高めるためにコフナを利用します。

◆ 施肥方法

1. 改植を行わない場面でのコフナの使用方法

- 春収穫後、堆肥と一緒に株もとに筋蒔きし、土寄せして土と混合します。土寄せができない場合、コフナを散布後、ワラ・もみ殻などを上に散布しかぶせて下さい。
 - 秋は収穫後、または秋の収穫をしない場合は10月頃に上記方法で行います。
 - 以後毎年、春と秋にコフナを施肥します。
 - コフナ（1号/MP）の使用量は春5袋/10a,秋10袋/10aを株もとに施肥します。
- ※ 堆肥の質によりコフナの数量は増減させて下さい。
- 秋の片付けの際には、図1もしくは写真1の  で囲った部分は出来るだけ除去して下さい。

◆ 施肥効果

- 樹勢が良く木の枯れが少なくなります。また秋の枯れ上がりが遅くなります。
(根張り、特に毛根の張りが良くなります)。
- アスパラガスの芽出しが良く、太いものが多くなります。従って収量増、良品質のものが獲れます。
- 収穫期が長く、平均的に獲れます。
- 紋羽病（特に紫紋羽病）に対する対抗力があり、新しい根が張り回収率が高くなります。



写真1

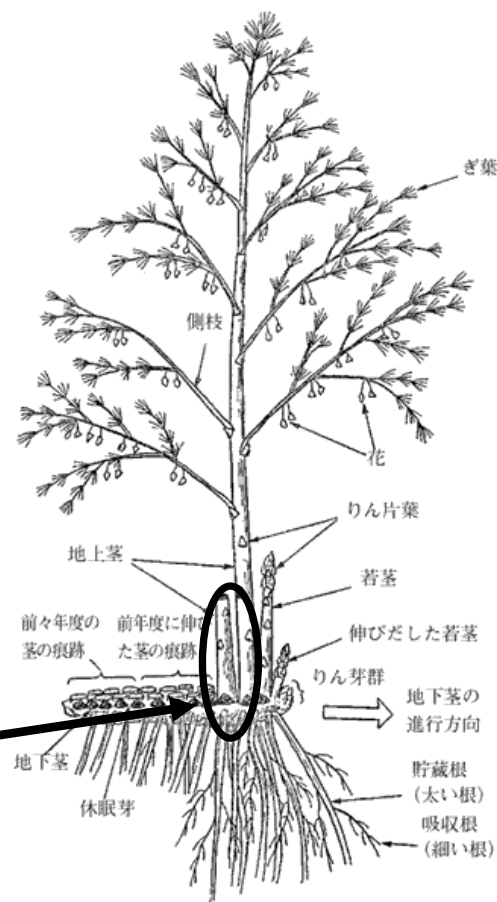


図1 アスパラガスの各部位の名称

◆改植の場合

- 全層に堆肥と一緒にコフナを良くすき込みます
 - ※ すき込み後定植までに3ヶ月以上（冬場でも可能）開けて下さい。
 - ※ 残根は出来るだけ掘り起こし持ち出して下さい。
 - ※ 株は広く伸びております。部分改植の場合でも出来るだけ広い範囲の株を持ち出して下さい。
 - ※ 堆肥と共に米ヌカもコフナと同数量散布して下さい。
- 薬剤消毒を使用するときは先に残根を持ち出し、その後消毒を行う。ガス抜き後（7～10日後）コフナを使用します。
- 上記以外の肥料とは同時施肥でも可。
- コフナ（1号/MP）の使用量は10aあたり15～20袋



茎枯れ病は、アスパラガスの表面で傷が付いた部分より侵入してきます。そのため敷きワラ等で土壌表面を出来るだけ覆い、同時に病原菌の繁殖を抑えるためにも、コフナ等の良性の微生物を表面に繁殖させて下さい。